

小松市立本陣記念美術館

休館日／月曜日（祝日を除く）、祝日の翌日（土日を除く）、
年末年始（12/29～1/3）、展示替え期間中

開館時間／午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

入館料／一般300円、高校生以下無料

※20名以上の団体は250円 ※こまつミュージアムパス利用可

※特別展の観覧には別途料金が生じる場合があります

※障がい者手帳持参者と同行者1名まで入館料免除

（ミライイロIDアプリ提示でも適用）

2023（令和5）年度

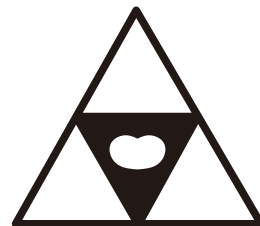
展覧会スケジュール

アクセス



※展覧会名・会期・休館日・
出品作品は変更することが
あります。

- JR小松駅より徒歩15分
- JR小松駅より寺井方面行きバスに乗りし、京町下車 徒歩2分
- JR小松駅より市内巡回バス（北コース）に乗りし、市役所前下車 徒歩3分
- 小松空港よりJR小松駅行きバスに乗りし、昭和通り・西町下車徒歩7分
- 駐車場：乗用車の方は、市役所前・年金事務所駐車場をご利用ください。



KOMATSU CITY
HONJIN MEMORIAL ART MUSEUM

小松市立 本陣記念 美術館 ●



小松市立本陣記念美術館

Komatsu City Honjin Memorial Art Museum

〒923-0903 石川県小松市丸の内公園町 19 番地

電話 0761-22-3384 <https://komatsu-museum.jp/honjin/>

企画展「春うらら 本陣コレクションから」

特別企画～所蔵東山魁夷作品一斉公開～

3/28 (火) ～ 6/18 (日)

春をテーマとして、花や春の季節を感じられる絵画や工芸品を、本陣コレクションから紹介。所蔵する東山魁夷作品を一斉公開。



左：東山魁夷《森の道》1965年



右：相谷光俊《春秋美人之画》1930年頃

「第79回 現代美術展 小松展」

6/29 (木) ～ 7/9 (日) 会期中無休

現代美術展小松展を、小松市民ギャラリーリールブレ（小松市立博物館）・本陣記念美術館・宮本三郎美術館で開催

企画展「いきもの★いろいろ

美術品のいきものたちに会おう！」

7/25 (火) ～ 9/10 (日)

わみですよ

ライチョウです



本陣コレクションには、様々な動物の意匠が見られます。鳥や魚、昆虫または伝説のいきものたち。美術品に表現された様々ないきものたちを紹介。楽しい夏休み企画です。

右：木村雨山《雷鳥》1965～1974年
左：中村翠信《葉に弾果実虫》1945～1985年

特別展「小澤基弘展～魂の叫び～」

9/23 (土・祝) ～ 11/26 (日)

画家はなぜ絵を描くのでしょうか。表現者はなぜ表現を日常とするのでしょうか。小澤基弘は脊髄神経症克服のため一本の鉛筆の先端を見つめることからはじめ、描くことへ移行し、画家として今日まで活動を続けています。表現された作品群はエネルギーに溢れ、私たちに釘付けにし、刺激し、訴えかけます。小澤ワールドの深奥を体感する展覧会。

小澤基弘：宮本三郎記念テッサン犬賞展審査員



上：《差異法》1997年 下：《浮遊する巖》2003年

企画展「やきものたちの饗宴」

12/16 (土) ～

令和6年 2/25 (日)

本陣コレクションの陶磁器を、赤・青・茶・白・黄・灰・黒とメイン色ごとに。それぞれの個性が繰り広げる宴をお楽しみください。



《古九谷色絵風鳳宝曲図平鉢》
1655年頃～1695年頃



写真：末正真礼生

2024年北陸新幹線小松駅開業記念特別展

本陣記念美術館 × 宮本三郎美術館

「長谷川町子がやってきた」

令和6年 3/9 (土) ～ 5/26 (日) 【予定】

サザエさんの作者・長谷川町子は、毎月歌舞伎を見に行くほどの歌舞伎通。そして姉とともに美術品の蒐集家でした。子ども歌舞伎で知られる石川県小松市で、町子の「かぶき」の世界を紹介！

写真提供 文藝春秋

